

平成27年度 第1回医療分野の研究開発関連の調整費の配分

「医療分野の研究開発関連の調整費に関する配分方針」（平成26年6月10日健康・医療戦略推進本部決定）に基づき、平成27年度第1回配分予定額は総額で145.4億円。

なお、第2回配分及び年度途中で機動的に対応すべき事項が生じた場合等に対応するため、29.6億円を配分せずに留保。（参考）科学技術イノベーション創造推進費（500億円）のうち35%（175億円）を医療分野の研究開発関連の調整費として充当。

主な取組

1. 医薬品・医療機器開発への取組

オールジャパンでの医薬品創出 2.3億円
次世代PPI阻害ライブラリの構築、リード化合物の創出による革新的医薬品の開発を加速
オールジャパンでの医療機器開発 1.2億円
力触覚フィードバック機能を付加した手術支援ロボット等の最先端医療機器の開発を加速

3. 世界最先端の医療の実現に向けた取組

再生医療の実現化ハイウェイ構想 1.7億円
疾患特異的iPS細胞を活用した創薬・疾患研究の加速、臨床利用目的の新規ES細胞の樹立

5. その他

3.2億円

（感染症）
エイズに対する世界初となる革新的医薬品開発を加速
（その他疾病）
糖尿病・循環器疾患に関する研究開発の加速、環境因子（常在菌叢、ウイルス叢）に着目したアレルギー疾患の研究開発を加速
（ICT）
大規模健康・診療データ収集・利活用の促進

2. 臨床研究・治験への取組

革新的医療技術創出拠点プロジェクト 1.8億円
幹細胞を用いた小児代謝性肝疾患根治療法の開発、国産小児用体外式拍動型VADシステムの研究開発

4. 疾病領域ごとの取組

ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト 1.1億円
AYA世代（思春期及び若年成人）の希少がんの治療法開発を目指したゲノム機能解析とその臨床応用
脳とこころの健康大国実現プロジェクト 1.5億円
認知症等の研究加速および標準化等に係る研究、うつ病等の精神疾患バイオマーカー開発を加速
新興・再興感染症制御プロジェクト 6億円
エボラ出血熱に対する治療薬等の開発を加速
難病克服プロジェクト 1.3億円
未診断疾患プログラムの基盤作りに必要な各スキームの構築、潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の確立

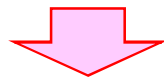
IRDiRC (International Rare Diseases Research Consortium : 国際希少疾患研究コンソーシアム)への加盟について

【IRDiRC 組織・活動概要】

- ◆ 2011年4月設立。17カ国40団体が加盟。
- ◆ 希少疾患の分子的・治療的解析を行い、倫理・規制面も含めた情報共有化とともに臨床開発を進めて2020年末までにほとんどの希少疾患の診断方法ならびに200の新規治療法を提供することを目標とする。
- ◆ 【加盟資格】 IRDiRCの目的に沿ったプロジェクトに対して5年間US\$10M(12億円)以上助成する助成機関。製薬企業・患者団体も可。
- ◆ エグゼクティブコミッティーが最高意思決定機関。
- ◆ エグゼクティブコミッティーの下に3つのサイエンスコミッティー(診断、総合領域、治療)を置き、タスクフォース(データベース・データ発掘・同意書・臨床試験・評価手法)での検討内容を踏まえ、協議した結果をエグゼクティブコミッティーに議題として上呈。

【IRDiRC 加盟目的】

- ◆ 患者数が少ない難病・希少疾患治療薬開発では国際連携が必須。
 - 研究開発動向・情報共有ツールなど国際動向をフォローし、国内での診断法・治療法の開発に活用。
 - 日本の難病対策についても発信。



✓ AMEDとして加盟に向けた検討・手続きを推進

